

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和4年度 東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和5年2月16日（木）13：30～15：00
開催場所	東広島市市民文化センター 2階研修室1
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	高橋委員、市場委員
事務局職員氏名	生活環境部長 中村 人権男女共同参画課 課長 中川、課長補佐 岸、主任主事 坂田
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>議題1 会長及び副会長の選出について</p> <p>議題2 審議会等委員への女性登用状況について</p> <p>議題3 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）の取組状況について</p> <p>議題4 男女共同参画推進事業の令和4年度の取組状況及び令和5年度の実施計画について</p> <p>3 その他 連絡事項等</p> <p>4 閉会</p>
配付資料	<p>資料2-1 審議会等委員への女性登用状況（令和4年4月1日状況）</p> <p>資料2-2 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性登用状況</p> <p>資料3-1 第3次きらきらプラン取組実施状況</p> <p>資料3-2 きらきらプラン【結果／判定基準】</p> <p>資料4 男女共同参画推進事業 取組状況および実施計画</p> <p>その他 東広島市男女共同参画推進審議会規則、次第、座席表 出張おしゃべりカフェ実績資料 資料2-1（差替分）、資料3-2（差替分）</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・部長挨拶 ・出席者の確認 ・配布資料の確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1 会長及び副会長の選出について、委員の改選後初めての審議会であるため、改めて会長・副会長を定める必要がある。審議会規則の規定により、委員の互選により定めることとされている。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局で案があればお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局としては、来年度に後期計画策定を控えており、これまでの計画をよく理解している坂田委員に会長を、小坂委員に副会長を提案したいがどうか。 <p style="text-align: center;">－拍手多数－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に坂田委員、副会長に小坂委員が選出 ・会長、副会長あいさつ
坂田会長 （議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、「議題2 審議会等委員への女性登用状況について」事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1、2-2説明
坂田会長 （議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・きらきらプラン目標値で、令和6年度までに市議会に占める女性委員の割合が35%以上、女性委員のいない審議会を0とする目標があるが、地方自治法202条の3関係での委員の女性比率は27%で、女性委員のいない審議会数も前年よりも増えている、目標達成に向けて厳しい面も見受けられるが、現状このような状況になっている要因や、今後女性比率を向上させるための見通しについて伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員のいない審議会について、R4年7月に改選があった審議会があり、改選の結果、新たに女性委員が登用された審議会があるため、現状女性委員のいない審議会数は7になった。 ・女性委員のいない審議会がある理由としては、選挙の結果により女性委員がいない、充て職により女性委員がいない、学識経験者に女性委員がいないことが理由として挙げられる。 ・市としては女性の登用を進めていくための推進要領を設けており、委嘱2か月前までに事前協議をするように全庁に働きかけ、女性委員の選出の意識づけ、啓発を行っている。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・働きかけを継続して行ってほしい。 ・資料2-2の審議会の名称を見た感じだと、女性が委員にいてもおかしくない審議会もあると思う。選挙結果により、選出されている委員もあると思うが、もう

	<p>少し一般的な視点を入れるというか、透明化させるなどの工夫をすることによって、委員の女性割合を増やしていけばいいのではないかと思う。</p>
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員の割合を増やすということでは、年代によって男女共同参画についての考え方も違うので、特に若年層の方を積極的に登用していくことを勧めたい。 ・自分たちの意見が反映されることによって、少しずつではあるが、女性委員の割合も増えていく可能性があるのではないか。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・充て職によって委員が選任される場所は、なかなかすぐには難しいところもあるが、男女共同参画の推進をするため、委員選出に女性を優先させる項目を審議会の要綱に設けて運用することも一つの方法としてあると思う。 ・特に、女性委員の割合が低い部署の審議会にあればよい。事前協議の時にも、女性を優先させるという文言があれば、女性委員が増えるきっかけになるのではないかと思う。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・文書化することによって効力があると思うので、検討してもらいたい。
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、「議題3 第3次東広島市男女共同参画推進計画(きらきらプラン)の取組状況について」事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3-1、3-2説明
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号18-1こども家庭課の、地域子育て支援センターの運営のところ、利用人数が少ないのはコロナの影響があると思うが、地域別の差はあるか。西条近辺では予約が取りにくいという話を耳にするが、地域では利用が少ないということはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別の人数については、事務局では把握していない。市全体のものとして捉えてもらえれば。 ・西条では予約が取りにくいとのことで、例えば福富であるとか別の地域の支援センターに通っている家庭があるということは聞いている。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国でも少子化対策が進められているが、東広島市の子育て支援の事業は市民の方に高評価を得ていると聞いているので、国に先駆けて模範となるような事業を展開していくことを期待している。 ・今回の資料3-1の表は、今までよりも見易くなっていて、資料の改善が施されていて良いと感じた。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回E判定となった講座は、コロナの影響で人数が減少した結果だと思うが、オンラインを積極的に活用して、PCだけでなくスマホで参加できるようにするのもひとつの手段かと。市民の方も初めはオンラインの環境を整える準備等で時間がかかるかもしれないが、回数を重ねて慣れてくれば、参加しやすくなり、参加率も上がるのではないか。 ・オンラインを活用した講座はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人権男女共同参画課で実施している講座では、このあとの議題4でお話する内容

	<p>にも関連するものであるが、ワークライフバランス講座を市公式Y o u T u b eで配信している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参集型の講座が現状多いので、今の意見を参考に取組んでいきたい。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業もコロナ禍前までは、オンラインで会議をすることに抵抗があったが、今では同じ建物内においてもオンライン会議をしている。一種の慣れでもあるので、今後もオンラインを活用した講座を企画していってもらえればと思う。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃忙しくて参加できない人でも、オンラインであれば参加できるなど、オンラインならではの良さがあると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ Y o u T u b e は自分の都合の良い時間に視聴できることがメリットしてある。 ・ 子育て世代などの若い世代は、普段からデジタルに慣れ親しんでおり、わざわざ出向かなくても気軽に情報を得られたり、相談できることはメリットなので、行政としても積極的に活用して啓発に努めたい。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ポータルサイトは、登録していれば、L I N E やメールで色々な情報を得られる良いツール。ポータルサイトにY o u T u b e やZ O O M のU R L を掲載するなどしてリンクを増やしていけば、自分で調べなくてもどんどん情報が入ってくるので、活用を検討してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報がプッシュ通知で得られるのは非常にメリット。必要としている人に必要な情報が提供できるように活用していきたい。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策番号12の施策「ワークライフバランスの推進」の取組内容の部分で、＜拡充＞以降の文章に関して、対象となる企業や周知の方法について分かれば教えてほしい。
前延委員 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前産業部で担当の係にいたので、私の方から説明を。周知の方法は、商工会議所を中心に支援の制度紹介等をしてもらっている。 ・ 国を中心にワークライフバランスに関しての支援制度の拡充は進んでおり、制度の活用がしやすい環境が整備されている。
前延委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度に向けて、事務局として何に力を入れていきたいか思いがあれば聞かせてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性活躍の推進や子育て世代の支援等、市民からニーズの高い要望に沿った施策を展開していきたい。 ・ 昨年10月に市長がイクボス宣言を行ったことに鑑みて、特に若い世代にワークライフバランスの実践や、男性職員の育休取得の促進に力を入れたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策番号14-3の指標に男性職員の育児休業取得率9.1%という数字が出ているが、取得した男性職員の感想など、何か得ている情報はるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取得した職員からは好評を得ている。一人が取得することで、周りの職員も取りやすくなり、上司の立場からも、部下から申し出があれば、積極的に薦めたい。その結果、男性も女性も働きやすい環境になると思うので、そういった社会に近づけられるように努めたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人が取得することで、周りの職員も取りやすくなる環境ができるのは良いこと。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇が取りやすい環境をつくるためにも、周りの職員一人一人がカバーし、協力することも大切。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが協力できる環境があると育児休暇の取得率も上がると思うので、今後も、上の職位にいる方たちから広めていってほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・男性職員の配偶者の出産状況については職員課から管理職に情報提供しており、当該職員に育休取得の呼びかけをできる状況を作っている。
財満委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号15について。待機児童の状況について教えてほしい。
前延委員 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童については国が指定する基準では0になるが(4月時点)、年度途中の出生や転入等により待機児童が発生する状況はある。去年は33人。 ・よく保護者の方から声が上がるのが、1人目は保育所に預けているが、2人目が預けられなかった場合に、保護者が自宅にいることになるので1人目も含めて自宅で見てくださいということになってしまう。こういった状況を解消するために、市として、新年度は保育士の確保など、年度途中に発生する状況の変化に対応できるようにし、年度を通して待機児童数が0を目指している。
小勝負委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの全体の話聞いていて思ったことが、こども家庭課が実施している施策でオンラインの活用で結果が出ていることを踏まえると、参加者にとって、オンライン形式は参加へのハードルが下がることが読み取れる。 ・R6年までに女性委員のいない審議会を0にする目標がある。数字ありきではないが、委員会もオンラインで参加できる選択肢があれば、人数も増えるし、女性の参加割合も増えるのではないか。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ポータルサイトについての質問で、様々な立場の人の意見、例えば現場の人の意見の声とか、そういった意見が集まる場所、意見を言える場所はポータルサイトにはあるのか。
前延委員 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトなどで意見を言える環境を整備している自治体は全国的にも少ないのが現状。理由として、発言が原因で炎上する恐れがあるため。 ・府中市がアプリを作っていて、かつ市民の取得率が高く、炎上もほとんどなく運用で来ているという話は聞いている。 ・東広島市のポータルサイトに意見を発信できる機能はないが、設置できる可能性はある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページには、問い合わせフォームがあり、内容によって各部署、各担当課が回答している。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号43の防災における男女共同参画の推進に関して、防災リーダーというどうしても男性のイメージが強く、女性が入っていくのは難しいところはあると思うが、女性の防災リーダーがいないわけではないので、県の危機管理課や広島大学の防災減災センターに相談すれば、もしかしたら紹介ができるかもしれないので、意識の醸成、啓発も含めて積極的に取り組んでもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治協議会の方の話では、避難所の開設、運営にすごく労力を割くため、なかなか女性の参画を考えるに及ばないところはあるが、今年度の当課の取組と

	<p>して、危機管理課と連携し、出前講座で防災への女性の参画について紹介してもらった（8か所で実施）ほか、8月の防災訓練時にも啓発を行った。来年度も引き続き、取組を進めていきたい。</p>
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、「議題4 男女共同参画推進事業の令和4年度取組状況及び令和5年度の実施計画について」事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4説明
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
	(質問、意見なし)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・エスポワール周知を目的として、実施した出張おしゃべりカフェについて、事務局から報告したい。 ・また、報告後に来年度の啓発、イベント実施に向けて委員の皆様の意見を伺いたい。
事務局（出張おしゃべりカフェの報告）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代を中心に、ジェンダー平等を実現するために必要なことはなにかを、メインテーマに啓発活動を実施。実際の参加者は母親と、未就学児で、父親の参加はなかった。 ・地域によって、先生（職員）の意識の温度差があったため、市民の方々と触れ合う機会が多い先生方への意識づけが課題としてある。 ・坂本委員が所属しておられるパンセの会による人形劇は、手作り人形の動物のこどもたちを中心に話が進むもので、ジェンダー平等に関して伝えたい内容がコンパクトにまとめられており、好評だった。 ・エスポワール活動推進員の講話は、アンコンシャス・バイアスについて知ってもらうこと、気づくことを中心に話を展開。
坂本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に地域に出て、人形劇を通して啓発ができたことはよかった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実施後のアンケートでも、人形劇について「わかりやすかった」「よかった」という意見が多かった。 ・アンケート「Q8 今日のお話をきいて、ご自身で思いあたる事はありましたか？」では、あったと回答する人が多く、自身の思い込みに加えて、無意識のうちに子どもに強要していたところがあったと書かれている人もいた。 ・男女の性別にかかわらず、個人が輝いた生き方ができる社会を実現するために、少しずつではあるが、実際に出向いて啓発が出来たのはよかった。
坂本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、出張おしゃべりカフェで実施した人形劇は2代目のもの。 ・初代はカラーがテーマで、ランドセルの色は男の子が「黒」、女の子が「赤」ではなく、自分が好きな色のランドセルを背負っていいんだよということを啓発。 ・初代の人形劇も何年も実施してきたが、現在では児童がそれぞれ自分の好きな色のランドセルを選べる社会になったと思うので、2代目は「人間らしく、自分らしく生きていこう」をテーマにして活動している。 ・コロナ禍で、幼稚園や保育園での啓発がなかなかできない中で、今回出張おしゃ

	べりカフェで啓発ができてよかった。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・森のゆりかご（託児団体）の一員として、長年託児の関係で、おしゃべりカフェ（連続講座）に関わっているが、サンスクエアで実施していることもあり、例年参加者が西条にお住まいの方が多い印象があった。 ・よい講座であるので、もっと多くの地域の人に来ていただけるように、今後も出張おしゃべりカフェ等で、啓発を進めてもらいたいし、多くの人にエスポワールの存在を知ってもらいたい。
坂田会長 （司会進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に出向いての啓発は、よい試みだと思う。 ・今後に向けてのアイデアがある委員の方はいるか。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して話を聞いてみると、行政の壁があるように感じた。例えば、事業によって人権男女共同参画課、こども家庭課、教育委員会など縦割りなどところがあると思う。 ・子育てに関しての地域での壁もあると思うので、取り払っていく必要があると思う。 ・しかし、国の施策も含めて、（担当部署は違って）話の根幹は同じなので、熱意を持ち、互いに協力し合って、住民も巻き込んで展開していくことを期待したい。
坂田会長 （司会進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を実施するに当たり、熱意があるというのは重要な要素。 ・エスポワールという名前を聞いたとき、何をやっている施設なのか、ということが分かるようにリンク付けが出来ればなおよいと思う。 ・委員の方でほかに意見がある方はいるか。なければ以上で審議を終了し、事務局にお渡しする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・閉会